授業科目名	開講年次	開講時期	単位数	時間数	実務経験
病態学Ⅱ （循環器系）	1年次	後期	1	15	有

科目責任者	吉岡賢二
授業概要	それぞれの器官に生じる疾患の原因や病気の成り立ちなどの特徴を肉眼・組織の写真と病態を表現したイラストを用いて学ぶ。
目標	1．循環器系の代表的な疾患について、発生の原因・症状・検査・治療について理解できる。

授業内容

回	内容	担当	授業方法
1	循環器の構造と機能 心臓・大循環・小循環・門脈循環系・リンパ循環系 局所性循環障害の定義と発生機序・充血・うっ血 虚血・側副循環・血栓症・塞栓症・出血・梗塞	担当講師	講義
2	症状とその病態生理 胸痛・動悸・呼吸困難・浮腫・チアノーゼ・失神 四肢の疼痛・ショック・播種性血管内凝固症候群	担当講師	講義
3	検査と治療・処置 心電図・胸部Ｘ線検査・心臓カテーテル法　・血行導 体モニタリング 冠状動脈バイパス術・弁置換術・大血管再建術・補助 循環装置	担当講師	講義
4	疾患の理解と治療１ 虚血性心疾患 （労作性狭心症・急性冠症候群・冠状動脈硬化の危険因子） 心不全	担当講師	講義
5	疾患の理解と治療２ 血圧異常・不整脈（除脈性不正脈・頻脈性不正脈）	担当講師	講義
6	疾患の理解と治療３ 弁膜症・心筋炎・心筋症・肺性心	担当講師	講義
7	疾患の理解と治療４ 動脈系疾患・静脈系疾患・リンパ系疾患 循環器系疾患と生活習慣との関係	担当講師	講義
8	試験	担当講師	―

履修条件	―+B22
テキスト	系統看護学講座　専門基礎分野 病態生理学　疾病の成り立ち地回復の促進②　医学書院
参考書	なし
評価方法・基準	試験（100%）